

# 平成30年度事業報告

## 平成 30 年度 介護老人福祉施設ヴィラ四日市 事業報告

### 《 特養 ユニット 入所 》 入所定員 40 名

ユニット型特養稼働率は、100%を維持できました。ユニット型となり個別的な生活支援へと職員の支援方法も変化しましたが、個別ケアの重要性が施設全体や職員間で共有できてきました。今後は尊厳を重視した「その人らしい」支援をめざしていききたいと思えます。

今年度の職員増減数としては、昨年（H29年4月）常勤換算数約28人に対して今年度（H30年4月）常勤換算数約27人と1名減少となりました。

入居者様の平均要介護度は3.9～4.0の推移となりました。そのためより重度な入居者様への支援を担うこととなりますが、入居者様支援内容や支援のレベルを落とすことなく、私たち職員ができる最大限の力を出すための取り組みを行ってきました。その一つが「多職種連携」の取り組みの強化です。介護・看護職員同士の連携はもちろんですが、その他の職種とユニット職員との相談がしやすい環境づくりや、困ったときに他部署への応援の発信がしやすい仕組みづくりなどを中心に行ってきました。

また、「リーダー職員の育成」を年間通じて行ってきました。勤務表作成を通じての人員のコントロール、ユニット内の課題解決への取り組みを行うことでユニットのリーダーとしての意識付けを行いました。

さらに、「施設内勉強会」の積極的な開催を行い、職員の教育、自己研鑽によるレベルアップを試みました。少しずつではありますが着実に知識の習得はできてきたと思えます。

入居者様支援においては、24時間統合シートを利用し個別的な支援方法への見直しやアセスメント、数値的な根拠をもった情報共有に取り組み、転倒・転落事故、皮膚剥離事故、服薬のミスといった人間的なミスも大幅に減らすことができました。

令和元年も個別ケアの推進や、職員のレベル向上を目指し入居者様や地域の方にとって信頼できる施設となるよう努力を続けていきます。

### 《 特養 従来 入所 》 入所定員 40 名

従来型特養稼働率は100%を維持できました。従来型特養は、建物の老朽化もあり修理や手直しが常に必要な現状はありますが、入居者様にとってはみんなで集まれる環境が日々安心して過ごせる点などがあり、アットホームな環境が提供できています。季節的な催し物を入居者様と職員が一緒に行い、笑い声の絶えないレクリエーションが行えている環境が好評を得ています。

今年度の職員増減数としては、昨年（H29年4月）常勤換算数22人に対して今年度（H30年4月）常勤換算数約21人と1名の減少となりました。

入居者様の平均要介護度は3.7～3.9の推移となりました。そのためより重度な入居者様への支援を担うこととなりますが、入居者様支援内容や支援のレベルを落とすことなく、私たち職員ができる最大限の力を出すための取り組みを行ってきました。

また従来型特有の画一的な支援方法の課題があったため、今年度は可能な限り個別的な支援方法重点的に取り入れてきました。成果として、入居者様の笑顔や笑い声が増え、丁寧でゆっくりと個々の入居者様に合わせた声掛けができるようになりました。令和元年も個別ケアの推進や、職員のレベル向上を目指し地域で信頼できる施設となるよう努力を続けていきます。

## 《 短期入所 ユニット 》 利用定員 20 名

ユニット型短期入所における平均稼働率は 81.0%でした。昨年と比較し 10%稼働率減少となった要因としては、周辺地域に開設された有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅への軽度者（要支援・介護度 1・2 の利用者）の入所、さらに新設された特養 2 か所（合計 120 床）への重度者（介護度 3 以上）の入所をされた方が多数おられたことがショートステイの稼働率に大きく影響しました。そこで今期終盤から受け入れ体制や方法、また営業先の変更、職員間の連携方法や情報共有の仕方を大幅に変更し、ショートステイの稼働率増加を目標に取り組み始めました。さらにサービスの質の見直しや予約受け入れ体制を見直した平成 31 年 2 月以降は稼働率も回復してきています。

令和元年は昨年の反省点を受け止め、より質の高いサービスで稼働率の回復を図ります。

## 《 短期入所 従来 》 利用定員 10 名

従来型短期入所における年間稼働率は 64.6%でした。ユニット型短期入所と同様に、周辺地域に開設された有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅、さらには新設された特養 2 か所（合計 120 床）の開設に伴い近隣地域で入所を希望される利用者様が全体的に減少したことに大きく影響しました。四日市市ではサービス付き高齢者住宅であっても生活保護の入居者が利用できる施設もあり特に軽度な（要支援・介護度 1・2）利用者様のサービス付き高齢者住宅への入所が可能となったことも稼働率減少の要因のひとつとなっています。

また、平成 31 年 2 月以降ユニット型ショートステイと同様に受け入れ体制や方法、また営業先の変更、職員間の連携方法や情報共有の仕方を大幅に変更し、ショートステイの稼働率増加を目標に取り組み始めました。さらにサービスの質の見直しや予約受け入れ体制を見直し 2 月以降順調に稼働率は回復しています。

今期は従来型ショートステイのメリットである安価である部分を生かし、アットホームな雰囲気作りで利用者の獲得を目指します。

## 平成 30 年度実施行事報告

- \* 四季折々の行事、春は花見や散策・ショッピング、夏はかき氷・夏祭り鑑賞に流しそうめん、秋には遠足にショッピング・散策、冬は餅つきに初詣など実施
- \* 毎月の誕生会やテーブルレクリエーションを実施
- \* 喫茶企画・散策など随時レクの実施（不定期）

## 平成 30 年度資格習得実績

介護福祉士資格取得者 2 名

## 平成30年度 訪問介護事業報告書

平成30年4月以降、利用者数が前年度に比べ減少していましたが、8月以降、居宅介護支援事業所への営業等で徐々に新規利用者を紹介していただき、前年度の水準まで戻すことができました。3月は利用者様の入院、施設への入所が重なり前年度より減少する結果となりましたが4月には新規利用者の獲得により31名と回復しています。

近隣に有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等があり、新規の利用者様の獲得には難しい状況はありますが、地域の居宅介護支援事業所への営業にも力を入れ、在宅で生活する利用者様を紹介して頂けるよう努力しています。

今後も訪問介護職員全員で連絡を密に取り合い、カンファレンス等で個々の支援内容について綿密に確認しあい、利用者様への不利益が生じないような取り組みをすることで地域での信頼度を高めていきます。

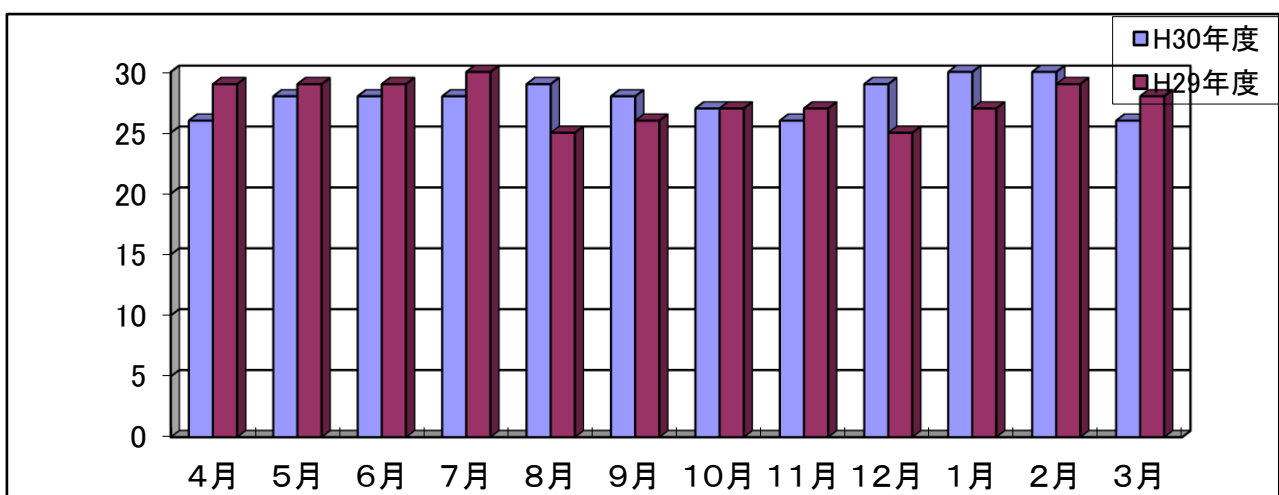
また、支援の際には利用者様の心配事にも耳を傾け、精神的支援も行うことで安心してサービスを受けて頂ける環境を作っています。

今年度も地道な努力で利用者様の獲得を行っていきます。

### ※月別利用者数及び支援時間数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	26	28	28	28	29	28	27	26	29	30	30	26
延時間数	159	174	167	168	171	153	170	171	159	169	168	152

### ※利用者数前年度比較

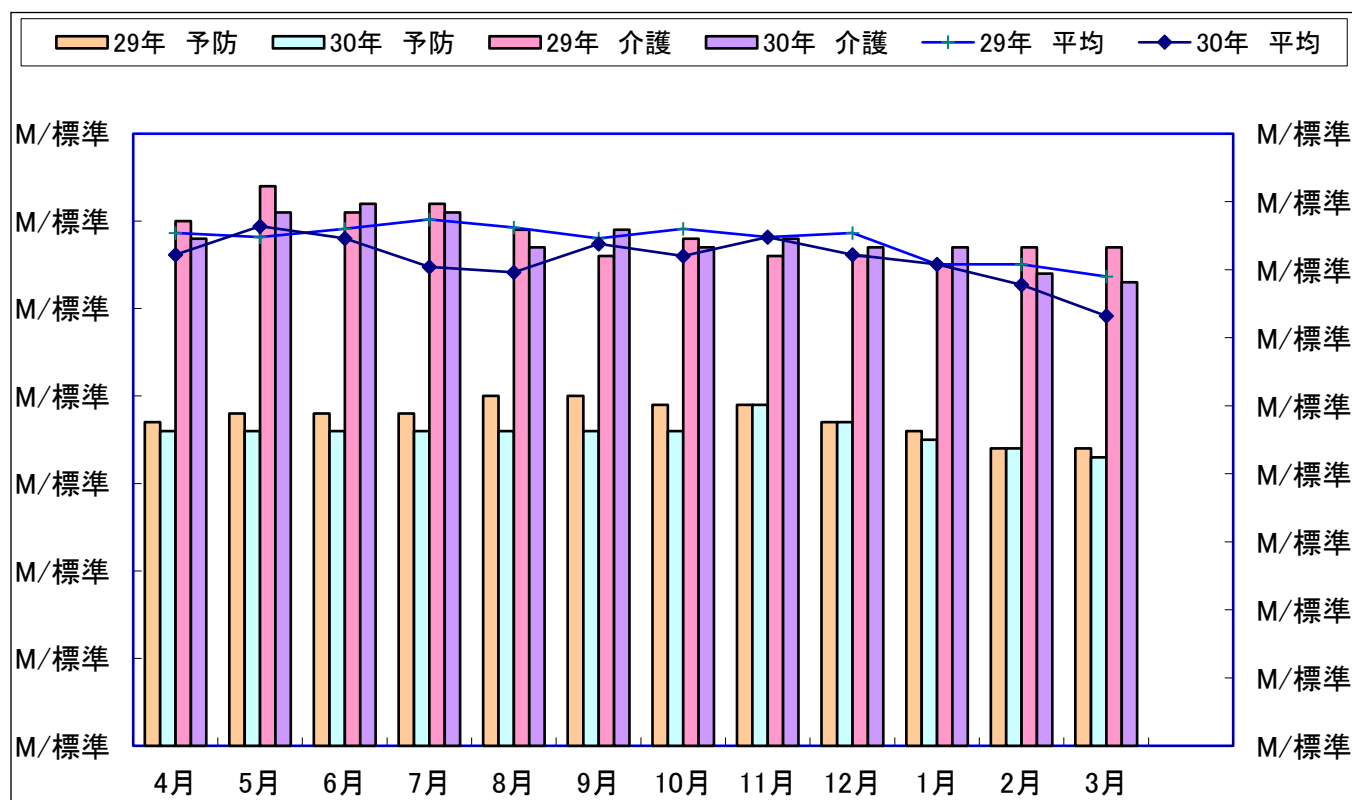


# 平成 30 年度ヴィラ四日市通所介護センター事業報告

今年新しい職員も入りレクリエーション・フロアの装飾などの見直しを行いました。

また、各居宅支援事業所への連絡、報告業務を蜜に行うことを継続して行いました。

社員・パート関係なく同じ対応ができるように職員間でも連絡をこまめにするなど情報の共有に努めました。



## < 4月 >

3日～5日・・・花見（各曜日参加人数 20～25名程度）

7日・・・オカリナ「ボランティア」

13日・・・スイーツバイキング（40名）

18日・・・アクセサリ教室（25名程度）

20日・・・童謡クラブ「ボランティア」（30名）

## < 5月 >

11日・・・アクセサリ教室（25名程度）

18日・・・童謡クラブ「ボランティア」（25名）

19日・・・スイーツバイキング（40名）

## < 6月 >

13日・・・スイーツバイキング（37名）

14日・・・アクセサリ教室（25名程度）

15日・童謡クラブ「ボランティア」(25名)

## <7月>

7日・・・・・・・・セタイイベント・スイーツバイキング(40名)  
11日・・・・・・・・アクセサリ教室(20名程度・・・女性利用者様限定)  
20日・・・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」(28名)  
24-26日・・・・夏祭り(40名)

## <8月>

4日・・・・・・・・オカリナ「ボランティア」  
8日・・・・・・・・スイーツバイキング(37名)  
9日・・・・・・・・アクセサリ教室(20程度)  
17日・・・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」(28名)

## <9月>

1日・・・・・・・・スイーツバイキング(40名)  
14日・・・・・・・・アクセサリ教室(25名程度・・・女性利用者様限定)  
21日・・・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」(35名)

## <10月>

2.3日・・・・・・・・餃子パーティー(各38名程度)  
8日・・・・・・・・アクセサリ教室(25名程度)  
15日・・・・・・・・スイーツバイキング(38名)  
19日・・・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」(24名)  
29日~31日・遠足(参加者、20名程度)

## <11月>

14日・・・・・・・・アクセサリ教室(25名程度・・・女性利用者様限定)  
15日・・・・・・・・スイーツバイキング(40名)  
16日・・・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」(30名)

## <12月>

4日・・・・・・・・オカリナ「ボランティア」  
6日・・・・・・・・アクセサリ教室(30名・女性利用者様限定)  
8日・・・・・・・・バイオリンコンサート(40名)(ボランティア)  
21日・・・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」(22名)  
19日~20日・・・クリスマス会(各曜日40名)  
25日・・・・・・・・スイーツバイキング(40名)

## < 1月 >

4日・・・・・・アクセサリー教室（30名・女性利用者様限定）

5日・・・・・・スイーツバイキング（40名）

15日～17日・初詣（参加者、各25名程度）

18日・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」（22名）

23日～24日・初詣（参加者、各10名程度）

## < 2月 >

2日・・・・・・節分祭（40名）

12日・・・・・・アクセサリー教室（25名）

14日・・・・・・スイーツバイキング（35名）

15日・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」（20名）

## < 3月 >

4日・・・・・・ひな祭り（40名）

11日・・・・・・アクセサリー教室（30名・女性利用者様限定）

14日・・・・・・スイーツバイキング（40名）

15日・・・・・・童謡クラブ「ボランティア」（20名）

※その他、月1度の調理クラブ・誕生会・散髪

週1度の音楽クラブ・体操クラブ・ストレッチ教室・ミニゲーム

## 平成 30 年度 富洲原通所介護センター事業報告

\* 平成 30 年度は、新規利用者は、平均で月 2 名増加したが、利用頻度の高い利用者様の入院や死亡、年明けからは、インフルエンザ流行からそのまま長期休みに入ってしまった利用者様もみえ、年間を通じて利用者様の人数を増やす事ができませんでした。

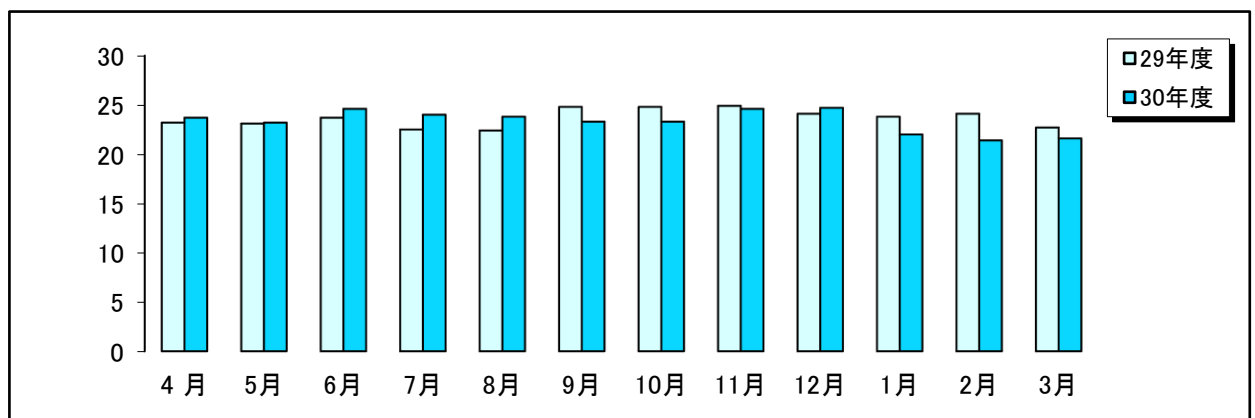
イベントでは「トミスの湯」の継続、スイーツバイキングや手作りおやつなどの開催、利用者様が楽しみにしてくださる出張陶芸教室等のイベントをするなど、利用者様を飽きさせない工夫をしながら定着率が上がるよう支援しています。

また、毎月富洲原 3 地区の老人会から傾聴ボランティアや、介護相談員の受け入れを行い、地域とのつながりを保ちながら、地域の皆様が当デイサービスの利用をして頂ける様に支援しています。

さらに、地域包括支援センターや行政機関と連携をとりながら、在宅介護支援センターとの情報交換も行い、富洲原地区の高齢者福祉の拠点となるとともに、隣の市や町にも送迎範囲を広げて利用者様の人数を増やしていけるよう活動していきます。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	1日平均	23.2	23.1	23.7	22.5	22.4	24.8	24.8	24.9	24.1	23.8	24.1	22.7	23.7
	延べ利用	579	624	593	585	583	645	644	647	627	548	578	615	605
30年度	1日平均	23.7	23.2	24.6	24.0	23.8	23.3	23.3	24.6	24.7	22.0	21.4	21.6	23.3
	延べ利用	592	627	641	626	645	561	629	642	618	529	514	564	599

\* 1日の平均利用者数





## 平成 30 年度実施行事報告

日程	行事名	参加者人数
4月24日・26日	手作りおやつ	24名
5月15日	スイーツバイキング	26名
6月21日・22日	手作りおやつ	25名
7月13日	スイーツバイキング	25名
8月21日・22日	夏祭り	28名
9月18日・19日	手作りおやつ	21名
10月18日・19日	手作りおやつ	24名
11月5日	陶芸教室	30名
12月1日・7日・8日	バイオリン演奏会 餅つき	30名 25名
1月15・16・17日	初詣	30名
2月8日	スイーツバイキング	20名
3月28日～	お花見	50名

\* 毎月誕生会・MVP&打上げパーティ、不定期でカラオケ大会や  
フラワーアレンジメント・定期的に散髪を実施

## 平成 30 年度 ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター事業報告書

### 【居宅介護支援】

四日市市には ブランチ的役割として在宅介護支援センターが26箇所と、3箇所(北、中、南)の地域包括支援センターが設置されております。当事業所は北包括支援センターの管轄内の大矢知地区と富州原地区の2ヶ所で市の委託を受け在宅介護支援センターを運営しています。各地区の民生委員の方々や在宅介護支援センターとの信頼が深く(在宅介護支援センターの働き効果も大きく)、また北包括支援センターとの結びつきも強いことから、居宅介護支援事業所も信頼してくれ、利用者を多数紹介を頂きました。また今年度は総合病院の各地域連携室からの退院等相談や、新規相談も多数頂きました。

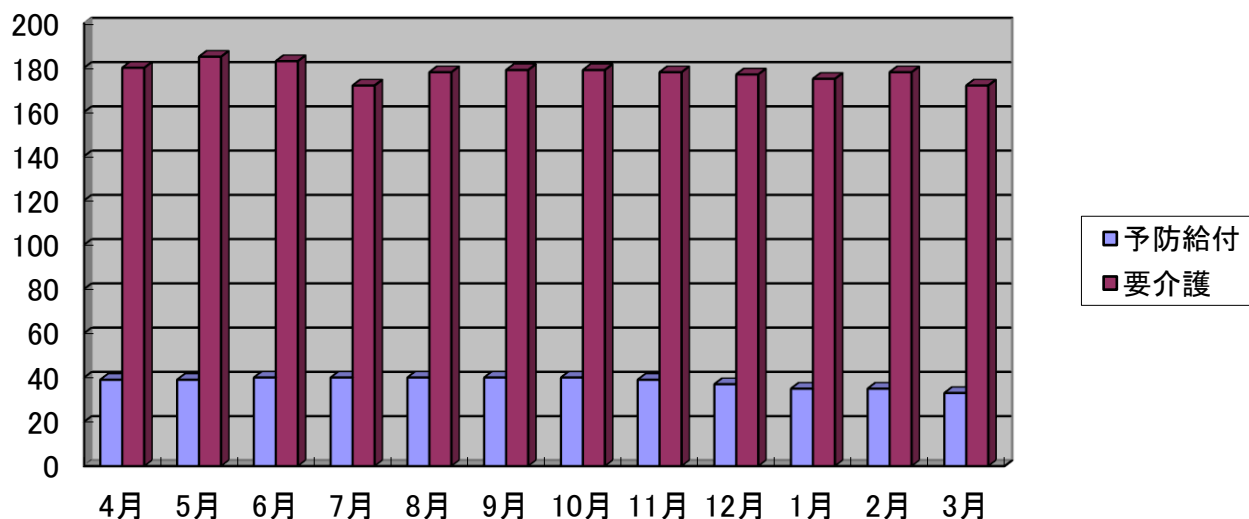
平成 30 年度は新規利用者様、要介護 73 件、要支援 6 件あり、死亡者様 30 名・施設入所者様 41 名・予防への移行者様 2 名・長期入院者様及び転居者様などその他5名と 利用中止者様がおられる中で、平均利用者担当件数が ケアマネジャー一人あたり、介護 30 件、支援 6.5 件という結果となり、ケアプラン依頼数を維持することが出来ました。(ケアマネジャー常勤 5 名、非常勤 1 名で対応しています)

近年、終末を在宅で迎える方々も増えてきており、医療系サービスの必要性が高まっています。他職種との連携、地域の開業医看護師との連携も多く相談内容は多様化してきています。各関係機関との連携を深め、情報交換などを常に行い、地域での勉強会に積極的に参加し困難ケースにも適切に対応してきました。

今後も『住み慣れた地域で自分らしく生活していきたい希望に添えようプラン立てし、皆様に信頼される、優しい事業所』をめざし、地域に根ざした在宅介護支援センターになる様に努力していきたいと思っております。

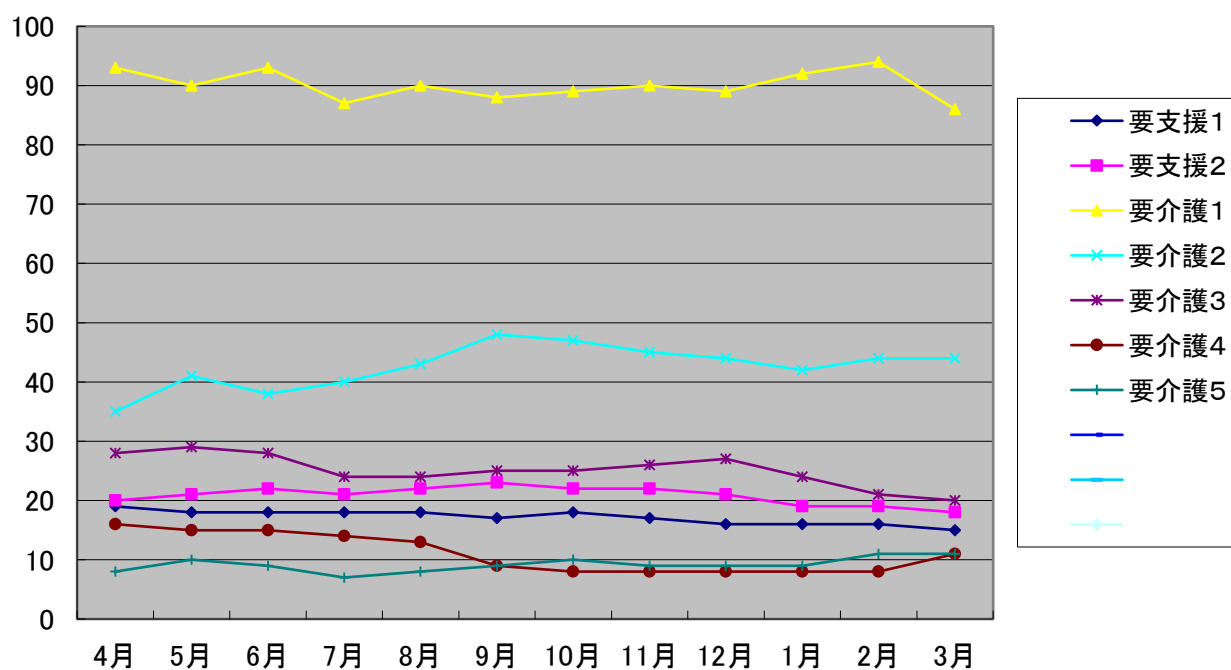
居宅件数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防給付	39	39	40	39	40	40	40	39	37	35	35	33
介護給付	180	185	183	172	178	179	179	178	177	175	178	175
合計	219	224	223	212	218	219	219	217	214	210	213	208



介護度別件数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	19	18	18	18	18	17	18	17	16	16	16	15
要支援2	20	21	22	21	22	23	22	22	21	19	19	18
要介護1	93	90	93	87	90	88	89	90	89	92	94	86
要介護2	35	41	38	40	43	48	47	45	44	42	44	44
要介護3	28	29	28	24	24	25	25	26	27	24	21	20
要介護4	16	15	15	14	13	9	8	8	8	8	8	11
要介護5	8	10	9	7	8	9	10	9	9	9	11	11



新規利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規利用者	4	10	8	4	12	7	11	7	7	8	11	7

## 平成30年度 富洲原複合型サービスセンター 事業報告

平成26年4月に看護・小規模多機能型施設の運営を開始して満5年が経過しました。看護小規模多機能型施設は現在当センター含め市内に2施設しかありません。そのためか市内でのサービスの知名度はさほど高くなく、連合自治会長、児童・民生委員協議会長、老人クラブ連合会長等地域の顔となる方々に近隣地域でのサービスと事業所の認知のためにご協力を頂きながら地域での知名度をあげていっています。地域の民生委員の会合でサービスのことを周知させて頂いたり、市役所主催の居宅部会でサービスの紹介をしてもらったりと地道な営業を行いました。平成30年度は月に1件のペースで新規利用者を獲得しながら、入院入所で登録利用者を減らすことを繰り返し前年度の稼働率より減少という結果になりました。ただ営業活動の効果は平成31年に入り出てきており、4月には登録人数が24名と回復しています。現在も相談が数件あがってきており少しずつサービス及び事業所の認知度は高まっております。

通い・泊り・訪問介護・看護を必要な時に必要な量提供できるセンターの強みを生かし、利用者様の生活を支えると共に、地域行事への積極的な参加により、スタッフの顔も覚えていただくことができ、地域でも声を掛けて頂けるようになってきました。

令和元年も病院への営業活動、地域への啓発活動を継続し、近隣の高齢者の方に安心してご利用いただけるサービスを提供していきます。

## 《ヴィラ四日市在宅介護支援センター・平成 30 年度事業報告》

### ・年間活動報告

4 月	2・16 日：蒔田なかよしサロン 転倒防止運動、健康だよりの周知 12 日：わいわいがやがやクラブ みんなで脳トレを実施 17 日：はつらつ健康塾 地区市民センターにて 「認知症予防について」 22 名参加 18 日：ウエルカフェ・出張介護相談 介護相談 22 日：民生・児童委員との情報共有・見守り会議（大矢知）
5 月	6 日：民生・児童委員との情報共有・見守り会議（川北・下之宮） 7・21 日：蒔田なかよしサロン 転倒防止運動、健康だよりの周知 9 日：下之宮そよ風サロン 15 日：はつらつ健康塾 川北ふれあいセンターにて 「口腔ケアについて」 22 名参加 16 日：ウエルカフェ・出張介護相談 17 日：わいわいがやがやクラブ 介護予防のミニ講座とレクリエーション
6 月	3 日：民生・児童委員との情報共有・見守り会議（蒔田・松寺） 4 日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、健康だより周知 9 日：下之宮町 勉強会 「口腔ケアについて」 7 名参加 13 日：下之宮そよ風サロン 16 日：山手中学校福祉体験教室 19 日：はつらつ健康塾 垂坂公会堂にて 「脱水・熱中症について」 31 名参加 19 日：福祉協力員福祉座談会 「在宅介護支援センターの役割について」 20 日：ウエルカフェ・出張介護相談 21 日：わいわいがやがやクラブ 熱中症予防ドリンク作りと試飲
7 月	1 日：民生・児童委員との情報共有・見守り会議（西富田・十志） 2・16 日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、熱中症注意喚起 11 日：下の宮そよ風サロン 健康だよりの周知 笑いヨガ 17 日：はつらつ健康塾 斎宮集会所にて 「転倒予防の話」 12 名参加 18 日：ウエルカフェ・出張介護相談 26 日：わいわいがやがやクラブ 26・30 日：認知症サポーター養成講座 大矢知地区第 1・2（小学生 62 名、指導員 4 名）・3（小学生 46 名、指導員 4 名） 学童保育所にて

8月	<p>5日：民生・児童委員との情報共有・見守り会議（垂坂）</p> <p>6・20日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操</p> <p>8日：下之宮そよ風サロン 健康だより周知</p> <p>15日：ウエルカフェ・出前講座 薬剤師による「脱水症予防と低栄養防止」のミニ講座 6名参加</p> <p>16日：わいわいがやがやクラブ 脳トレ</p> <p>21日：はつらつ健康塾 古家自治会集会所にて 「フットケアについて」 19名参加</p>
9月	<p>3日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、健康だより周知</p> <p>9日：大矢知まつり キャリパの実施と福祉相談</p> <p>12日：下之宮そよ風サロン</p> <p>18日：はつらつ健康塾 東垂坂集会所にて 「口腔ケアについて」 8名参加</p> <p>19日：ウエルカフェ・出張介護相談</p> <p>20日：わいわいがやがやクラブ 脳トレ</p> <p>22日：下之宮町 勉強会 「管理栄養士によるおいしい話」 13名参加</p>
10月	<p>1日：運営協議会と地域ケア会議</p> <p>1・15日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、健康だより周知</p> <p>3日：健康管理講座 いしが在宅ケアクリニック 副院長による講演 「在宅医療って？」 62名参加</p> <p>10日：そよ風サロン 健康相談</p> <p>16日：はつらつ健康塾 出来山集会所にて 「高齢期の身体づくり」 16名参加</p> <p>17日：ウエルカフェ・出張介護相談</p> <p>18日：わいわいがやがやクラブ 脳トレ</p> <p>22日：認知症サポーター養成講座 地区市民センターにて 5名参加</p>
11月	<p>3日：福祉協力員 施設見学ツアーに同行する 施設の種類について説明、住宅型有料老人ホーム、特養の見学、宅配弁当の試食</p> <p>5日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、健康だより周知</p> <p>6日：川北キングにて出前講座 インフルエンザ予防について 26名</p> <p>7・8日：ひとり暮らし食事会 受付手伝い、介護相談、認知症予防レク実施</p> <p>13日：山手中学校・地域学習受け入れ 15名来所</p> <p>14日：そよ風サロン 健康だより周知、フラダンス見学</p> <p>15日：わいわいがやがやクラブ 脳トレ</p> <p>20日：はつらつ健康塾 垂坂自治会集会所にて 「インフルエンザについて」 24名参加</p> <p>21日：ウエルカフェ・出張介護相談 スノードーム作り 9名参加</p>

12月	<p>3日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、健康だより周知</p> <p>12日：下之宮そよ風サロン</p> <p>16日：交流もちつき大会 百歳体操実施団体の発表と交流 70名</p> <p>17日：わいわいがやがやクラブ 出前講座</p> <p>18日：はつらつ健康塾 斎宮自治会集会所にて 「ノロウイルス予防」 12名参加</p> <p>19日：ウエルカフェ・出前講座 薬剤師による「冬の感染症について」ミニ講座 6名参加</p>
1月	<p>9日：下之宮そよ風サロン</p> <p>15日：はつらつ健康塾 出来山集会所にて 「お口の健康について」 16名参加</p> <p>16日：ウエルカフェ・出張介護相談</p> <p>17日：わいわいがやがやクラブ 危機管理室より出前講座</p> <p>21日：蒔田なかよしサロン インフルエンザの注意喚起、転倒防止体操</p>
2月	<p>4日：蒔田なかよしサロン 転倒防止体操、感染予防・効果的な手洗い方法</p> <p>18日：蒔田なかよしサロン OTによる「腰痛防止の体操」</p> <p>13日：下之宮そよ風サロン 出前講座「終活について」</p> <p>19日：はつらつ健康塾 蒔田第一自治会集会所にて 「フットケアについて」 16名参加</p> <p>20日：ウエルカフェ・出張介護相談 コットンドーム作り、交流</p> <p>21日：わいわいがやがやクラブ 脳トレゲーム</p>
3月	<p>13日：下之宮そよ風サロン</p> <p>18日：蒔田サロン 転倒防止体操、健康だより周知</p> <p>20日：ウエルカフェ・出張介護相談</p> <p>21日：わいわいがやがやクラブ 脳トレ</p> <p>22日：はつらつ健康塾 大矢知地区市民センターにて 「転倒予防について」 15名参加</p>

- ◎ 毎月、民生委員児童委員定例会に出席し情報の共有、提供、相談を受け、地域連携・協力体制構築をしています。
- ◎ より密に相談できるように、大矢知地区を 5 つに分けて情報共有と見守りのための会議を年に 1 回行い、名簿にて確認しました。次年度は地区の傾向を分析できるようにしていき、課題にあわせた勉強会などを提供できればいいと思っています。
- ◎ はつらつ健康塾の開催について  
地域でできる介護予防「いきいき百歳体操」の開催がされていない町を中心に開催し、交流と介護予防の啓発、地域の健康ボランティアによるストレッチと歌を実施しました。「いきいき百歳体操」の開催されている町での開催は、参加者が時間的に参加しづらいという声もあり次年度の開催は検討となりました。また、集会所は参加しにくいといわれるかたもみえたため地区市民センターの開催を 2 回に増やしました。
- ◎ 地域でできる介護予防「いきいき百歳体操」が立ち上がり、地域包括支援センターから依頼を受け、体力測定の実施、在支の役割や出前講座の紹介につながっています。
- ◎ 地域のサロンから出前講座の依頼が増え、知識の啓発をするとともに地域の実態把握をすることにつながっており、今後も出向き支援していきます。
- ◎ 福祉協力員と協力し、社会資源の見える化のひとつとして、いきいきサロンの紹介集を作成しました。いきいきサロンに最近来ていない人の情報を提供いただけるよう依頼、今後ほかかわりの継続の必要性を実感しました。

・訪問給食実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼	262	289	319	334	317	278	330	300	314	274			
夕	327	355	350	321	305	325	408	366	318	299			
合計	589	644	669	655	622	603	738	666	632	573			7389

- ◎ 民間事業者では対応困難な見守り対象者にしぼられているため件数は減少していますが、見守る中での気づきを配食者と共有できるため早期の対応ができ、支援につながることも多く必要性は高い。

・平成 30 年度 年間相談受理実績

	本人	家族	関係者	合計
来所		31	9	57
訪問	432	37	21	490
電話	109	237	683	1029
合計	558	305	713	1576

- ◎ 認知症初期集中支援チームへの相談、支援チームからの引継ぎのタイミングが今後の課題、連携とは何か、本人や家族が混乱しないようにしていく必要がある、それぞれの機関の役割の確認が必要である。
- ◎ 認知症で通院中の方、認知症の疑いがある方の自動車運転の相談が増加。また、家族の介護力の低下、8050 問題も課題であり、あらゆる機関との協力関係が必要になってきています。



## ◎ 《富洲原在宅介護支援センター・平成 30 年度事業報告》

- ◎ 平成 30 年は、地域包括支援センターや行政、地域関係者等と連携は勿論のこと、3 ヶ月に 1 回開催される意見交換会により民生委員の方との連携がさらに強くなり地域の高齢者様達個々の情報を共有することができました。
- ◎ 介護保険の申請代行から、住宅改修、市の福祉サービス、介護保険サービスの利用まで、相談内容は多岐に渡り、その都度必要な機関・サービスにつなげ支援を行っています。また、サービスを必要とせず、継続的な見守りが必要な方には定期的に訪問し、状態把握を行っています。
- ◎ 年に 2 回の運営協議会で情報交換を行い、関係機関や地域関係者との支援体制づくりにも取り組んでいます。
- ◎ 又、地域ケア会議を開催し、行政や自治会、民生委員、老人会、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等と協力しながら、地域の課題について対応していくようになり地域住民での福祉事業にも携わるようになってきています。
- ◎ 今後も、在宅介護支援センターとして個別支援をしながら、又、介護予防教室など地域全体の活動も進めていけるよう、支援を必要とされる方にとって最良な相談窓口になっていけるようにしていきたいと考えております。

### ・訪問給食実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼	245	255	233	237	220	190	198	164	173	173	165	162	2415
夕	241	248	309	333	320	273	315	257	287	288	278	308	3457
合計	486	503	542	570	540	463	513	421	460	461	443	470	5872

### ・平成 29 年度 年間相談実績

	本人	家族	関係者	合計
来所	41	17	37	95
訪問	290	11	90	391
電話	288	132	404	824
合計	619	160	531	1310

・富洲原在宅介護支援センター 年間活動報告

4月	実態把握	ヨガ教室 4/5 地域包括ケア会議 4/14 いきいき 100歳体操 4/10	ヨガ教室 4/23 複合運営推進会議 4/25
5月	実態把握	ヨガ教室 5/14 四九市 5/29 100歳体操 5/30	
6月	実態把握	ヨガ教室 6/4 地域包括ケア会議 6/16 北地域勉強会 6/20	富田・富洲原地区勉強会 6/25 複合運営推進会議 6/27 民生委員意見交換会 6/30
7月	実態把握	運営協議会・地域ケア会議 7/7 ヨガ教室 7/11	はつらつ健康塾 7/21 四九の市 7/29
8月	実態把握	ヨガ教室 8/6 夏祭り 8/21 四九市 8/29	
9月	実態把握	ヨガ教室 9/9 民生委員意見交換会 9/30	
10月	実態把握	地域包括ケア会議 10/6 ヨガ教室 10/10 福祉講演会 10/24	四九の市 10/29 複合運営推進会議 10/31
11月	実態把握	富洲原地区防災訓練 11/11 ヨガ教室 11/14 地域包括ケア会議 11/17 在宅包括連絡会議事例検討会 11/19	はつらつ健康塾(料理教室) 11/21 認知症サポーター養成講座 11/24 四九の市 11/29
12月	実態把握	ヨガ教室 12/4 民生委員意見交換会 12/8 お餅つき 12/8.9	はつらつ健康塾 12/9 複合運営推進会議 12/27
1月	実態把握	ヨガ教室 1/7 地域包括ケア会議 1/18	富洲原地区運営協議会 1/19 四九の市 1/29
2月	実態把握	ヨガ教室 2/4 はつらつ教室(蒔田サロン) 2/18	複合型運営推進会議 2/19 在介包括連絡会議 2/22
3月	実態把握	包括在介合同会議 3/8 ヨガ教室 3/11 四九市 3/19	はつらつ健康塾 3/25 複合型運営推進会議 3/27